

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	犬学	学科名	愛犬美容・看護学科			授業方法	講義
担当教員	山中 一馬	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	ペットと共生するために必要な知識を得て、飼い主やクライアントとのコミュニケーションに繋げる。 犬に関する内容を主とし、犬種について、体格・組織について、しつけについてなどを学ぶ。 またペットに関する時事ニュースに触れ、個々で考えることで各自の意見を出し合う場とする。 時代が求める「動物愛護精神」を培う授業を展開する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットと共生することの本質を考え、授業や試験で意見が述べられるようにする。 ・学んだ内容を動物看護学、ペット美容実習、基礎訓練実習など実習科目に繋がられるように、各教科とリンクさせ、実践できる場で理解を深めさせる。 						
授業計画・内容							
第1週	講義ガイダンス	第16週	前期試験の復習				
第2週	犬種標準図鑑の見方	第17週	犬の血統書の見方①				
第3週	犬種のルーツ・グループ分け①	第18週	犬の血統書の見方②				
第4週	犬種のルーツ・グループ分け②	第19週	犬体デッサン(造形美術)				
第5週	犬種のルーツ・グループ分け③	第20週	犬の血統書の発行手続きについて①				
第6週	各部位と骨格の名称	第21週	犬の血統書の発行手続きについて②				
第7週	歯並びと咬み合わせ・耳と尾のバリエーション	第22週	犬体デッサン(造形美術)				
第8週	犬用シャンプーセミナー<外部講師>	第23週	犬が吐く理由①				
第9週	犬用シャンプーセミナー 復習・問題演習	第24週	犬が吐く理由②				
第10週	愛玩動物協会DVD「心の声に耳をすませて」ビデオ講座・内容補充解説①	第25週	犬体デッサン(造形美術)				
第11週	愛玩動物協会DVD「心の声に耳をすませて」ビデオ講座・内容補充解説②	第26週	ペット保険について①				
第12週	愛玩動物協会DVD「心の声に耳をすませて」ビデオ講座・内容補充解説③	第27週	ペット保険について②				
第13週	犬体デッサン(造形美術)①	第28週	飼養統計調査について①				
第14週	犬体デッサン(造形美術)②	第29週	飼養統計調査について②				
第15週	前期のまとめ	第30週	後期のまとめ				
評価方法	前期・後期試験の得点を基本とし、状況に応じて授業態度や出席状況を考慮し評価する。						
教科書 教材など	・一般社団法人 ジャパンケネルクラブ監修 インターズー発行 最新犬種図鑑 他関連書籍						
実務経験	ペットショップ勤務経験あり(スタッフ2年・店長5年)			実務経験のある教員による 授業科目			✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ペット美容実習 I	学科名	愛犬美容・看護学科			授業方法		実技	
担当教員	北川 俊輔 ・ 上河 志穂 他	学年・学期	1年・通年	時間数	510 時間	必須・選択	必須	必須	
授業概要 ・ 授業内容	動物業界で必要な知識をトリミングを通して学びます。 授業は、トリミングの基礎を中心に生体を用いた実践的なトリミング実習を行います。 即戦力になれるトリマーを目指す第一段階の授業になります。								
到達目標	トリミングの基本ベーシックを中心に基礎知識・技術を身に付ける。								
授業計画・内容									
第1週	犬の行動について	第16週	長毛犬種サマーカット①						
第2週	ベーシックについて①	第17週	長毛犬種サマーカット②						
第3週	ベーシックについて②	第18週	長毛犬種サマーカット③						
第4週	ベーシックについて③	第19週	長毛犬種サマーカット④						
第5週	短毛犬種のベーシック	第20週	長毛犬種の全身バリカン①						
第6週	短毛犬種の仕上げまで①	第21週	長毛犬種の全身バリカン②						
第7週	短毛犬種の仕上げまで②	第22週	長毛犬種の全身バリカン③						
第8週	短毛犬種の仕上げまで③	第23週	長毛犬種のシザーカット①						
第9週	短毛犬種の仕上げと部分カット①	第24週	長毛犬種のシザーカット②						
第10週	短毛犬種の仕上げと部分カット②	第25週	長毛犬種のシザーカット③						
第11週	短毛犬種の仕上げと部分カット③	第26週	長毛犬種のシザーカット④						
第12週	長毛犬種のベーシック①	第27週	長毛犬種のシザーカット⑤						
第13週	長毛犬種のベーシック②	第28週	長毛犬種のシザーカット⑥						
第14週	長毛犬種のシャンプーブロー仕上げ①	第29週	長毛犬種のシザーカット⑦						
第15週	長毛犬種のシャンプーブロー仕上げ②	第30週	長毛犬種のシザーカット⑧						
評価方法	筆記試験・実技試験・小テスト								
教科書 教材など	一般社団法人ジャパンケネルクラブ発行 グルーミングマニュアル								
実務経験	JKC認定トリマーA級(北川)ノトリミングサロン勤務経験あり(上河)					実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	集中授業(美容実習)	学科名	愛犬美容・看護学科			授業方法	実技
担当教員	北川 俊輔 ・ 上河 志穂 他	学年・学期	1年・通年	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	動物業界で必要な知識をトリミングを通して学びます。 授業は、トリミングの基礎を中心に生体を用いた実践的なトリミング実習を行います。 即戦力になれるトリマーを目指す第一段階の授業になります。						
到達目標	トリミングの基本ベーシックを中心に基礎知識・技術を身に付ける。						
授業計画・内容							
第1週	犬の行動について	第16週	長毛犬種サマーカット①				
第2週	ベーシックについて①	第17週	長毛犬種サマーカット②				
第3週	ベーシックについて②	第18週	長毛犬種サマーカット③				
第4週	ベーシックについて③	第19週	長毛犬種サマーカット④				
第5週	短毛犬種のベーシック	第20週	長毛犬種の全身バリカン①				
第6週	短毛犬種の仕上げまで①	第21週	長毛犬種の全身バリカン②				
第7週	短毛犬種の仕上げまで②	第22週	長毛犬種の全身バリカン③				
第8週	短毛犬種の仕上げまで③	第23週	長毛犬種のシザーカット①				
第9週	短毛犬種の仕上げと部分カット①	第24週	長毛犬種のシザーカット②				
第10週	短毛犬種の仕上げと部分カット②	第25週	長毛犬種のシザーカット③				
第11週	短毛犬種の仕上げと部分カット③	第26週	長毛犬種のシザーカット④				
第12週	長毛犬種のベーシック①	第27週	長毛犬種のシザーカット⑤				
第13週	長毛犬種のベーシック②	第28週	長毛犬種のシザーカット⑥				
第14週	長毛犬種のシャンプーブロー仕上げ①	第29週	長毛犬種のシザーカット⑦				
第15週	長毛犬種のシャンプーブロー仕上げ②	第30週	長毛犬種のシザーカット⑧				
評価方法	筆記試験・実技試験・小テスト						
教科書 教材など	一般社団法人ジャパンケネルクラブ発行 グルーミングマニュアル						
実務経験	JKC認定トリマーA級(北川)／トリミングサロン勤務経験あり(上河)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	トリミングサロン実習		学科名	愛犬美容・看護学科		授業方法	実技	
担当教員	北川 俊輔 ・ 上河 志穂 他		学年・学期	1年・通年	時間数	150 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	動物業界で必要な看護知識を生体通して学びます。 授業は、トリミング実習で使用している生体を看護の授業で学んだ知識を活かし病理検査します。 実際の検体を検査しトリミングを通して看護を学ぶ授業になります。							
到達目標	トリミングの基本ベーシックを中心に基礎知識・技術を身に付ける。							
授業計画・内容								
第1週	犬の行動について①		第16週	耳の洗浄について				
第2週	犬の行動について②		第17週	耳に寄生する寄生虫について				
第3週	健康チェック①		第18週	病理検査①				
第4週	健康チェック②		第19週	犬体に寄生する寄生虫について				
第5週	健康チェック③		第20週	検体の検出法①				
第6週	短吻犬種について		第21週	検体の検出法②				
第7週	短吻犬種のトリミングについて		第22週	病理検査②				
第8週	健康チェックからの実践		第23週	皮膚疾患について①				
第9週	体温・触診について		第24週	皮膚疾患について②				
第10週	犬の病気のサインについて①		第25週	皮膚疾患について③				
第11週	犬の病気のサインについて②		第26週	皮膚疾患について④				
第12週	犬の病気のサインについて③		第27週	シャンプー剤による皮膚の改善について①				
第13週	犬の病気のサインについて④		第28週	シャンプー剤による皮膚の改善について②				
第14週	犬の病気のサインについて⑤		第29週	シャンプー剤による皮膚の改善について③				
第15週	耳の病気について		第30週	試験				
評価方法	筆記試験・実技試験・小テスト							
教科書 教材など	一般社団法人ジャパンケネルクラブ発行 グルーミングマニュアル							
実務経験	JKC認定トリマーA級(北川)／トリミングサロン勤務経験あり(上河)				実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	動物看護学	学科名	愛犬美容・看護学科			授業方法	講義
担当教員	山中 一馬	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	メディカルトリマーに求められる最低限必要な動物看護の知識を学ぶ。 トリマーとして、動物看護師として、ペットショップスタッフとして飼い主(クライアント)に対し、わかりやすい言葉で説明するためには、まずは自身がきちんと理解をし、それを飼い主のレベルに合わせて説明が出来なければならないので、インプットしたら口語でアウトプットできるような授業を展開する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理を優先に、有事に備えた適切な看護法を学び、授業や試験で意見が述べられるようにする。 ・学んだ内容をペット美容実習、基礎訓練実習、ペット栄養管理学など実習科目に繋がられるように、各教科とリンクさせ、実践できる場で理解を深めさせる。 						
授業計画・内容							
第1週	講義ガイダンス	第16週	前期試験の復習				
第2週	獣医師に聞きにくい100の疑問①	第17週	目の病気①				
第3週	獣医師に聞きにくい100の疑問②	第18週	目の病気②				
第4週	獣医師に聞きにくい100の疑問③	第19週	目の病気③				
第5週	獣医師に聞きにくい101の疑問④	第20週	椎間板ヘルニア①				
第6週	ワクチン(混合ワクチン)について	第21週	椎間板ヘルニア②				
第7週	ノミ・ダニ・フィラリアについて	第22週	膝蓋骨脱臼①				
第8週	犬が吐く理由	第23週	膝蓋骨脱臼②				
第9週	犬の熱中症	第24週	膝蓋骨脱臼③				
第10週	耳の病気①	第25週	骨・関節の病気①				
第11週	耳の病気②	第26週	骨・関節の病気②				
第12週	犬の尿石症①	第27週	僧帽弁閉鎖不全症①				
第13週	犬の尿石症②	第28週	僧帽弁閉鎖不全症②				
第14週	犬の尿石症③	第29週	僧帽弁閉鎖不全症③				
第15週	前期のまとめ	第30週	後期のまとめ				
評価方法	前期・後期試験の得点を基本とし、状況に応じて授業態度や出席状況を考慮し評価する。						
教科書 教材など	・インターズー発行 めざせ早期発見！わかる犬の病気 他 関連書籍を参考にプリント作成						
実務経験	認定動物看護師・ペットショップ勤務経験あり(スタッフ2年・店長5年)			実務経験のある教員による授業科目		✓	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	動物飼養管理学	学科名	愛犬美容・看護学科			授業方法	講義
担当教員	山中 一馬	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>動物の愛護及び管理に関する法律に新たに取り入れられた「命」への感性を高め、「共生」への理解をさらに深める内容を提供する。変化の激しい動物愛護や適性飼養管理問題への応用力を養うために基礎的な事を中心に取り上げ、興味関心を持たせ、応用思考へ繋げる。</p> <p>自信が学んだ知識・思考した事を踏まえ、現場で会話に繋げられる実践力を養う事を目的とする。</p> <p>毎年11月第4日曜日に実施される本試験終了後は、ペット業界にありがちなペットトラブルを紹介し、就職後に使えるトラブル回避術を学ぶ。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物飼養管理士2級試験に全員が合格する。 ・飼養管理学を中心とした内容であるため、犬猫をはじめ小動物の飼養方法を学び、接客するために必要な情報を整理し、お客様に情報を提供(コミュニケーションツール)出来るようにする。 						
授業計画・内容							
第1週	講義ガイダンス	第16週	前期試験の復習				
第2週	動物のからだの仕組みと働き①	第17週	動物のしつけ①(学習行動)				
第3週	動物のからだの仕組みと働き②	第18週	動物のしつけ②(犬猫の社会化)				
第4週	動物のからだの仕組みと働き③	第19週	動物のしつけ③(犬猫の飼養環境)				
第5週	動物の適正な飼養管理	第20週	本試験直線対策①				
第6週	動物との正しい関わり方	第21週	本試験直線対策②				
第7週	動物の健康増進と疾病予防	第22週	本試験の振り返り				
第8週	飼養衛生・環境衛生・管理衛生	第23週	ペットショップでのトラブル①				
第9週	犬の飼養管理①	第24週	ペットショップでのトラブル②				
第10週	犬の飼養管理②	第25週	トリミングサロンでのトラブル				
第11週	猫の飼養管理①	第26週	ペットホテルでのトラブル				
第12週	猫の飼養管理②	第27週	動物病院でのトラブル①				
第13週	エキゾチックアニマル(小動物)の飼養管理	第28週	動物病院でのトラブル②				
第14週	鳥類・爬虫類の飼養管理	第29週	近隣住民とのトラブル				
第15週	前期のまとめ	第30週	後期のまとめ				
評価方法	前期・後期試験の得点を基本とし、状況に応じて授業態度や出席状況を考慮し評価する。						
教科書 教材など	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本愛玩動物協会発行 愛玩動物飼養管理士2級テキスト 第2巻 ・公益社団法人 日本愛玩動物協会発行 愛玩動物飼養管理士2級課題問題 ・ペットトラブル解決法関連書籍 						
実務経験	愛玩動物飼養管理士1級・行政書士有資格者(動物法務専門)・ペットショップ勤務経験あり(スタッフ2年・店長5年)			実務経験のある教員による授業科目			✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	動物飼養管理実習	学科名	愛犬美容・看護学科			授業方法	実技
担当教員	大月 敬子	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	将来犬業界に就職した時に役立つ犬の一般常識を学ぶ。 各犬種の特徴や性格を理解しながらドッグトレーニングを学びます。						
到達目標	一般家庭犬に必要な訓練知識・技術の習得						
授業計画・内容							
第1週	犬のしつけについて	第16週	犬種について				
第2週	犬の訓練について	第17週	犬のしつけトレーニング⑤				
第3週	犬の安全な扱い方について①	第18週	犬のしつけトレーニング⑥				
第4週	犬の安全な扱い方について②	第19週	犬のしつけトレーニング⑦				
第5週	カーミングシグナル①	第20週	犬のしつけトレーニング⑧				
第6週	カーミングシグナル②	第21週	犬のしつけトレーニング⑨				
第7週	犬の習性について①	第22週	問題行動について①				
第8週	犬の習性について②	第23週	問題行動について②				
第9週	犬のしつけトレーニング①	第24週	問題行動について③				
第10週	犬のしつけトレーニング②	第25週	問題行動について④				
第11週	犬のしつけトレーニング③	第26週	問題行動について⑤				
第12週	犬のしつけトレーニング④	第27週	問題行動について⑥				
第13週	トレーニング実技テスト①	第28週	トレーニング実技テスト④				
第14週	トレーニング実技テスト②	第29週	トレーニング実技テスト⑤				
第15週	トレーニング実技テスト③	第30週	トレーニング実技テスト⑥				
評価方法	定期試験・実技試験・小テスト 上記試験・出席・授業態度等により総合的に評価する。						
教科書 教材など							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	動物関連法規		学科名	愛犬美容・看護学科		授業方法	講義
担当教員	山中 一馬		学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>動物愛護法を中心に、動物に関する必要な法規に触れ、制定の目的を理解し、業界人としてどのような意識の下で活動すべきか、お客様に制度の内容を理解して頂ける方法を一緒に考える授業とする。自身が学んだ知識・思考した事を踏まえ、現場で会話に繋げられる実践力を養う事を目的とする。毎年11月第4日曜日に実施される本試験終了後は、ペット業界にありがちなペットトラブルを紹介し、就職後に使えるトラブル回避術を学ぶ。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物飼養管理士2級試験に全員が合格する。 ・動物関連法規を中心とした内容であるため、動物と共生するために必要なルールを学び、学生自身が、その必要性を理解し、お客様に情報を提供(コミュニケーションツール)出来るようにする。 						
授業計画・内容							
第1週	講義ガイダンス		第16週	前期試験の復習			
第2週	狂犬病予防法①		第17週	動物の飼養及び保管に関する基準			
第3週	狂犬病予防法②		第18週	ペットフード安全法			
第4週	身体障害者補助犬法①		第19週	鳥獣保護法			
第5週	身体障害者補助犬法②		第20週	本試験直線対策①			
第6週	動物関連法令		第21週	本試験直線対策②			
第7週	動物愛護法が制定されるまで		第22週	本試験の振り返り			
第8週	動物愛護法①		第23週	ペットショップでのトラブル①			
第9週	動物愛護法②		第24週	ペットショップでのトラブル②			
第10週	動物愛護法③		第25週	トリミングサロンでのトラブル			
第11週	日本動物愛玩協会の目的と活動		第26週	ペットホテルでのトラブル			
第12週	動物愛護論①		第27週	動物病院でのトラブル①			
第13週	動物愛護論②		第28週	動物病院でのトラブル②			
第14週	人と動物の関係学		第29週	近隣住民とのトラブル			
第15週	前期のまとめ		第30週	後期のまとめ			
評価方法	前期・後期試験の得点を基本とし、状況に応じて授業態度や出席状況を考慮し評価する。						
教科書 教材など	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 日本愛玩動物協会発行 愛玩動物飼養管理士2級テキスト 第1巻 ・公益社団法人 日本愛玩動物協会発行 愛玩動物飼養管理士2級課題問題 ・ペットトラブル解決法関連書籍 						
実務経験	愛玩動物飼養管理士1級・行政書士有資格者(動物法務専門)・ペットショップ勤務経験あり(スタッフ2年・店長5年)				実務経験のある教員による授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	サービス接遇		学科名	愛犬美容・看護学科			授業方法	講義
担当教員	時實		学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	接客業務を中心としたビジネスの場面に応じた言葉の使い方、電話対応、接客など基本的ビジネスマナーと、コミュニケーションビジネスの場面に応じた良好な人間関係を構築することの意義や必要性及びビジネスに対する望ましい心構えや考え方について学ぶ授業。 授業は主として講義形式で行い、学習内容に応じたの演習や実際の事例(事業所実習)に合わせた準備学習、事後学習を行う。							
到達目標	授業での学習を出発点とし、事業所実習に関する指導、進路の指導、その他の教科・科目とも組み合わせたキャリア教育としてのコミュニケーション能力の育成。							
授業計画・内容								
第1週	サービスとは①(顧客満足)			第16週	サービス接遇検定3級対策④ (従業知識・社会常識・一般知識)			
第2週	サービスとは②(サービスとマニュアル)			第17週	サービス接遇検定3級対策⑤ (過去問題答案練習)			
第3週	サービスとは③(サービススタッフの資質)			第18週	サービス接遇検定3級対策⑥ (過去問題答案練習)			
第4週	好印象を与えるポイント①(見た目による印象)			第19週	サービス接遇検定3級対策⑦ (過去問題答案練習)			
第5週	好印象を与えるポイント②(見た目による印象)			第20週	サービス接遇検定3級対策⑧ (過去問題答案練習)			
第6週	好印象を与えるポイント③(身だしなみ)			第21週	サービス接遇検定3級対策⑨ (過去問題答案練習)			
第7週	好印象を与えるポイント④(接客用語、敬語)			第22週	電話対応①(電話の特性、電話話法の基本)			
第8週	好印象を与えるポイント⑤(尊敬語、謙譲語)			第23週	電話対応②(電話対応の基本用語)			
第9週	好印象を与えるポイント⑥(丁寧語、接頭語)			第24週	電話対応③(電話の受け方の基本)			
第10週	好印象を与えるポイント⑦(敬語の演習問題)			第25週	電話対応④(電話の受け方の演習)			
第11週	好印象を与えるポイント⑧(間違いやすい敬語)			第26週	電話対応⑤(名指し人がいない場合の対応)			
第12週	好印象を与えるポイント⑨(敬語の演習)			第27週	電話対応⑥(伝言メモの作成)			
第13週	サービス接遇検定3級対策①(問題処理)			第28週	電話対応⑦(苦情電話への対応)			
第14週	サービス接遇検定3級対策②(金品管理)			第29週	電話対応⑧(電話のかけ方)			
第15週	サービス接遇検定3級対策③(贈答)			第30週	電話対応⑨(FAX・メールの送り方)			
評価方法	定期試験、出席状況、提出物、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(50%)・出席状況(15%)、提出物(15%)、授業態度(20%)							
教科書 教材など	「サービス接遇検定3級実問題集」、プリント							
実務経験							実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	キャリアプログラム	学科名	愛犬美容・看護学科			授業方法		講義	
担当教員	植田 雄介	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須		
授業概要・ 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基本マナーである、挨拶・返事、身だしなみ、立ち居振る舞い、言葉遣いなどを全体で習慣化できるよう、訓練する。挨拶訓練は繰り返し行うことで定着させる。学科集合授業も実施する。 ・主体的な就職活動ができるよう自己理解・仕事理解を深め、面接・グループディスカッション等の実践訓練を行い、就活スキルを磨く。また、職種研究や職業人の講話を通して、求められる人材や能力を研究した上で意思決定を行える材料を増やしていく。 ・ワークを中心とした自己分析を行い、他者理解も深めることにより、相乗効果として、コミュニケーションスキルの向上を図る。 								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・働く目的・社会人としての基本的マナー・マインド・倫理感を体得し、社会で通用する人間力を養う。 ・OBCで学ぶ意義や目的を考えるとともに、過去・現在について客観的に自己分析し、学生生活や将来につながる自己理解を深め、キャリアプランを立てる。 ・職業への理解や業界での働き方を学び、将来の意思決定を行う。 								
授業計画・内容									
第1週	オリエンテーション (授業の受け方、目的、エンployアビリティ)			第16週	【キャリアデザイン】仕事理解(業種と職種)、仕事研究について				
第2週	【キャリアデザイン】社会で必要とされる力 社会人基礎力Ⅰ			第17週	【就職スキル】グループワーク・グループディスカッションⅠ				
第3週	【キャリアデザイン】社会で必要とされる力 社会人基礎力Ⅱ			第18週	【就職スキル】グループワーク・グループディスカッションⅡ				
第4週	【社会人マナー】第一印象、笑顔、姿勢、お辞儀、挨拶、返事、身だしなみ、クッション言葉Ⅰ			第19週	【キャリアデザイン】職業人講話Ⅰ				
第5週	【社会人マナー】第一印象、笑顔、姿勢、お辞儀、挨拶、返事、身だしなみ、クッション言葉Ⅱ			第20週	【キャリアデザイン】職業人講話Ⅱ				
第6週	【キャリアデザイン】自己理解 好きなこと・嫌いなことⅠ			第21週	【就職スキル】企業訪問について				
第7週	【キャリアデザイン】自己理解 好きなこと・嫌いなことⅡ			第22週	【キャリアデザイン】自己理解 キャリアアンカー				
第8週	【キャリアデザイン】自己理解 長所・強みⅠ			第23週	【キャリアデザイン・就職スキル】自己理解振り返り、応募書類への活かし方				
第9週	【キャリアデザイン】自己理解 長所・強みⅡ			第24週	【キャリアデザイン・就職スキル】エントリーシートについて				
第10週	【キャリアデザイン】自己理解をもとにグループワーク(自分を紹介するための書く力・話す力)			第25週	【就職スキル】面接試験対策Ⅰ				
第11週	【キャリアデザイン】就活の流れ・スケジュールを立てる			第26週	【就職スキル】面接試験対策Ⅱ				
第12週	【就職スキル】電話			第27週	【就職スキル】面接試験対策Ⅲ				
第13週	【就職スキル】オンライン説明会・セミナーの受け方、就活サイト活用法			第28週	【就職スキル】志望動機の考え方、お礼状・郵便について				
第14週	【就職スキル】メールのマナー			第29週	【就職スキル】求人票の見方、求人の探し方				
第15週	前期の振り返り・夏季休暇課題について			第30週	【キャリアデザイン】授業の振り返り、キャリアプラン、春季課題について				
評価方法	出席率(40%)、提出物(40%)、授業への積極的な参加態度(20%)								
教科書 教材など	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ごとに資料配布→ファイリングし、就職活動時に利用。 ・就職ハンドブック 								
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目			